

植物多様性センターの「ふたつのジャノヒゲ」

ジャノヒゲは常緑の細長い葉に丸い種子をつけるキジカクシ科(APGⅢ)の多年生植物です。林床に生育し耐陰性が強いことから、日陰のグラウンドカバーとしてもよく用いられます。変種のナガバジャノヒゲは葉が細く長いだけではありません。匍匐枝をほとんど出さないため年々大株に育ちます。両者ともきれいな瑠璃色の実？をつけますが、これが果実ではなく種子そのものであることは、植物好きの皆さんならもうよくご存知ですね。



ジャノヒゲ:横に匍匐枝を伸ばしてカーペット状に広がる



ジャノヒゲの種子:青い種子は蛇(竜)の目玉?



ナガバジャノヒゲ:高さ、幅とも50cmを超えるヒゲモジャの大株



ナガバジャノヒゲ種子:葉を掻きわけると丸い種子がついている